

雨も楽しいゆっくりコース

名神高速道路の下になるので、雨の日でも濡れません。犬の散歩やジョギングをしている方もおられますよ。段差の少ないバリアフリーコースです。

津門・今津の旧跡を訪ねるコース

昔、この辺りは入り海でした。「津門」は港の入り口を意味し、「今津」は津門村から分かれた新開の村。「近世に文化の花咲く今津」と言われ、文人墨客も多かったそうです。

旧跡や地形が当時の面影を残しています。いにしえの世界にようこそ。



① 昌林寺と首洗いの池

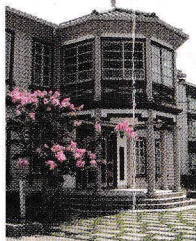
平安中期開創の昌林寺。その門前の首洗いの池。明星池。多田源氏と美女丸伝説のある素敵な宝庫。

② 松原天満宮松原神社と染殿池

万葉集にも詠まれた美しい松原が社名の由来。向かいの染殿池は大和朝廷の頃、大陸からやめてきた工女が布を染めたという。

③ 今津六角堂

明治十五年、当時のお金で八千円も投じた小学校。ハイカラです。信州松本の開智学校に次ぐ古き写真。



④ 今津灯台

江戸時代（一八〇年）に誕生。帽子をかぶり、お顔は格子のマスク。袴のような立ち姿に感動する。今も船の安全を守る日本最古の木造灯台。

オアシスの道から酒蔵を巡るコース

夙川堤の「オアシスの道」を下り、「香櫨園浜」へ。この砂浜は野鳥や貝、カニなどが生息する自然の宝庫。白い石造円筒形の「西宮砲台」を眺めながら「旧西宮ヨットハーバー」を通り抜けると「酒蔵」が点在します。



白帆が招く海辺のコース

歴史の道、札幌筋を下ると、全長五九〇メートルのスマートなラインを描く「西宮大橋」。北に六甲、南に瀬戸内海を臨む風光明媚な西宮の眺めが広がります。

橋を渡ると、海に浮かぶ人工島「西宮マリナパークシテイ」。この四季折々の自然を愛する平成の海辺の街は、桜並木、緑の木々、日本最大級の「新西宮ヨットハーバー」、珍しい貝が目に楽しい「貝類館」があり、日当たりのよい公園を散策するような心地よさを味わえます。